



ソラリス 千曲川 信濃リースリング 2020

SOLARIS CHIKUMAGAWA SHINANO RIESLING 2020

収穫地:長野県小諸市大里地区

栽培方法:マンズレイncutを使用した垣根栽培

仕込日:2020年9月22日

びん詰日:2021年4月15日

醸造責任者:島崎大 西畑徹平

タイプ:辛口

生産本数:1,932本

【分析値】

アルコール: 12.9 vol%

エキス: 2.19 g/100mL

還元糖: 1.2 g/L

pH: 3.43

総酸: 6.40 g/L (酒石酸として)



小諸市大里地区の自社管理及び契約栽培畑の信濃リースリングを使用しています。信濃リースリングは、リースリングを父、シャルドネを母としてマンズワインが独自に交配したぶどう品種で1991年に品種登録されました。リースリングからのとても華やかな香りとシャルドネからのふくよかさをあわせ持つマンズワインのオリジナル品種です。収穫後は香り成分を最大限引き出すためにスキンコンタクトを一晩行います。ステンレスタンクで発酵させた後、香りを確認しながらシュール・リーの状態で静かに育成させ、ほどよいコクを持たせています。

外観は輝きのある淡い黄色。香りは非常に豊かで、青いりんごやカリンなどの果実に、ユリなどの白い花、甘い蜜の香りを感じます。アタックは豊かな果実味を感じ、やわらかいながらしっかりした酸味が出てきます。余韻には酸味とともにほのかな苦味が残ります。この品種の魅力である華やかな香りを最大限に生かした辛口のワインに仕上がりました。(西畑 徹平)